

令和6年度（2024年度）第1回 熊本市立野外教育施設運営協議会会議録（要旨）

I 開催日時

令和6年（2024年）6月21日（金）午前9時30分～

II 開催場所

熊本市立金峰山自然の家 現場事務所

III 出席者

【委員】

大西 康伸 委員 熊本大学大学院 先端科学研究部教授
池田 由美 委員 熊本市立田迎南小学校 校長
内田 淑子 委員 熊本県キャンプ協会 理事
本田 奈緒子 委員 熊本YMCA 阿蘇キャンプ 所長
山本 一郎 委員 熊本市子ども会育成協議会 会長
西村 一弘 委員 芳野校区自治会連合会 会長
鑑 和昭 委員 河内校区自治協議会 事務局長
小園 英行 委員 熊本森林管理署 森林技術指導官（代理）
荒川 紀代子 委員 公募委員（社会教育士、野外活動指導者）
清田 晃子 委員 熊本市PTA協議会常任理事（欠席）

【事務局】

原口 琢哉（地域教育推進課 課長）
小原 恵二（地域教育推進課 課長補佐）
寺崎 真治（地域教育推進課金峰山班 主査）
神田 夏彦（地域教育推進課金峰山班 参事）
坂田 蘭子（地域教育推進課金峰山班 参事）

IV 会次第

- 1 開会
- 2 地域教育推進課長挨拶
- 3 議長挨拶
- 4 協議
 - （1）新施設整備運営事業の進捗状況について
 - （2）新施設の愛称選考について
 - （3）今後のスケジュールについて
- 5 その他
- 6 閉会（終了後現場整備状況案内）

1 開会

(司会) ただ今より、令和6年度第1回熊本市立野外教育施設運営協議会を開催します。

開会にあたりまして、原口地域教育推進課長よりご挨拶申し上げます。

(課長) おはようございます。地域教育推進課の原口でございます。

本日は大変ご多用な中、また足元の悪い中、運営協議会の委員の皆様はじめ、金峰山ビレッジの皆様も協議会にご参加をいただきまして、ありがとうございます。

おかげさまで、現在、新施設を本格的な建設に着手するとともに、来年4月に、新施設のリニューアルオープンに向けて、運営準備等を金峰山ビレッジの皆様方と順次進めているところでございます。

また、本日の議事にもございますが、新施設の愛称を募集しましたところ、熊本市の小学校児童の皆さんから1,000点を超える応募がございました。

応募作品を見させていただきますと、本当にこどもらしいほほ笑ましいものから、なるほどと感心するような内容もございました。

この愛称募集を含めまして、こどもたちをはじめ、多くの市民の皆様に親しまれる施設になりますよう、今後リーフレットやホームページ等に活用させていただこうというふうに考えております。なお、本日の協議会におきましては、応募作品の中から第一次選考をした作品を報告させていただきます。

また、新施設の整備運営状況の報告とあわせて、愛称候補作品についてもご意見をいただきますようお願い申し上げ、開会のご挨拶とさせていただきます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。

(司会) 続きまして、本協議会の成立についてご報告します。

本日は、大西委員からオンラインでの出席と清田委員より欠席のご連絡をいただいております。

また、熊本森林管理署から小園技術指導官に代理出席をいただき、古村森林官にも同席していただいております。

委員10名中9名が出席ですので、本協議会運営要綱に基づき、本日の協議会が成立していることをご報告します。

それではただ今から協議に入ります。議長の本田委員からご挨拶をいただきまして、進行をよろしくお願い申し上げます。

(議長) 皆様おはようございます。第1回の会議を、こちらの建設現場で開催をしていたいただき、本当にうれしく思っております。

いよいよ、来年4月のリニューアルオープンに向けて動き始めているなど、そういう実感もしております。本日は愛称の選考とか、事業がどのように進んでいっているのかというご報告をいただき、また、委員の皆様から色んなご意見をいただきながら、活発な意見交換が出来る、そういう場にしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

それでは、本日の会議次第に沿って会議を進めてまいります。まず、協議 1 の新施設整備運営事業の進捗状況について、事務局より説明をお願いします。

(事務局) 新施設の整備運営状況について資料に沿って説明

(議長) ありがとうございます。ただ今の説明につて質問、ご意見はないでしょうか。

旧施設も解体し、新たに建設に着工していますので、その時の状況とか、これから要望していくものがあるのかなと、この場でご意見をいただければと思います。

(委員) 施設利用の優先順位のところですけど、私は高校の定時制に勤めていますが、定時制の生徒は修学旅行がないので、ここに修学旅行に行こうかと話しをしています。

生徒数が 100 名程度で職員を入れても 150 人に収まるので、高校はどの辺の優先順位でしょうか。

(事務局) 小中学校の集団宿泊を最優先としています。そのあと教育委員会の主催事業、市内の児童・生徒を構成する団体という事になりますので、一般団体利用よりも前になります。本年 1 学期中に概ね小中学校の来年度の利用調整をしますので、その時の空きの状況を打合せさせていただきながら、是非高校の生徒さんにもご利用いただけたらありがたいです。

(議長) その他、感想でもいただけたらと思います。

(委員) 小学校にも次年度の利用希望の調査が来ていまして、学校は「来年から金峰山にまた行けるんだ」とみんな楽しみにしているところです。

本校はずっと芦北のほうに行ってましたが、活動は海の活動が出来て、それはそれで良かったです。前回の会議の時に話題になっていたと思いますが、2泊3日の生活・活動のマニュアルが必要ではないかという話が出ていて、そこを期待していますのでよろしくお願いします。

(事務局) ありがとうございます。ぜひ全ての小学校の児童の皆さんが、自然の家を利用していただくと大変うれしく思いますし、これまで以上に質の高い学びの場になるのではないかと思います。

今まで、県内の青少年教育施設を利用されていましたが、熊本市のこどもたちには、芳野・河内地区、金峰山一体には素晴らしい豊かな地域資源がございますので、それを学習の場として様々な体験活動をしていただければと思っています。

利用の手引きも、金峰山ビレッジさんの自然の家のホームページに第 1 段階として載せておりますけれども、中身をバージョンアップして分かりやすく、詳しく作っていくこととしています。

委員がおっしゃるように、どういう体験プログラムができるのかというのも、きちんと

資料を揃えて、事前にプログラム企画の際に参考になりますように準備をして、皆さんに提供していきたいと思います。

(議長) ありがとうございます。今の説明と事業の進捗状況を含めて何かありますでしょうか。

(委員) 施設の利用開始、4月1日からですか。

(事務局) 2025年、令和7年4月1日の正式オープンに向けて準備を進めています。

(委員) 4月に子ども会リーダーの研修を入れたいと思っています。今は中央公民館でしていますが、この施設での現地研修を3月はもう仕方ないので、4月に入ってから申し込みます。

(事務局) 学校利用のこれまでの利用状況を見ますと4月の中旬から下旬からのスタートとなっております。学校利用を優先しますが、学校利用の週末利用は、土曜日退所、日曜日入所となりますので、土日も一般のお客さんも利用できます。夏休みなどの学校の利用がない時、また宿泊棟の利用が定員170人なので、例えば100人の利用があった場合、残りの部分は数十名利用できますので、そういった形で多くの皆さんにも利用していただきたいと思っています。

それから、施設整備運営事業のワークショップで、子ども会のリーダーの皆さんにも様々なご意見、ご要望をいただきました。その中で野外炊飯にも取り組みたい。ピザ窯作りとか一緒にできたらいいというお話もいただいていますので、そのあたりも今後、市子ども会育成協議会の皆さんと色々ご相談させていただきながら、施設整備運営についても一緒に連携できる部分はお願いできたらと思います。よろしくお願いします。

(委員) 今の件で質問いいですか。集団宿泊教室に来ている時に、他の団体が会議等で使っていることもあるということですね。

(事務局) 以前の少年自然の家の際は、基本的には単独校という利用でした。その他、中学校が一緒になる小学校の皆さんは合同でご利用されたこともありました。

新施設では、多くの学校や青少年団体また、市民の皆さんに利用していただきたいということで、他の県内施設同様に同時に受入れが可能ならば、受入れていきたいと思っています。施設は、多目的ホールが1つ、研修室が1つなので、そのあたりは調整になりますが、学校を優先に利用できるような形で他の団体も入れるということで、調整していきたいという考え方です。

(委員) そういう状況になったときは事前にご相談があるということでしょうか。

(事務局) はい。例えば夜の活動で、多目的ホールでレクリエーションなどの活動が重なった場合は、利用団体の利用時間やプログラムの調整をお願いしていくことになります。

(委員) 学校としては、これまで何校か一緒というのは、今おっしゃった違うプログラムだったり、そういうこともありうるのかのお尋ねでした。

(委員) 先ほど、委員がおっしゃった、プログラムやマニュアルに関連していますが、要望になります。今回炊飯棟をリニューアルされますので、今まで集団宿泊教室で野外炊飯はほとんどなかったと思いますので、1食でもよいので野外炊飯をプログラムの中に入れていただけたらと思います。あと、マニュアルとはかけ離れていますが、学校の規模によってやれるプログラムが変わってくると思います。全校同じようなプログラムを実施されていたと思いますので、学校の規模や男女比、配慮が必要な子どもさんもいらっしゃいますので、プログラムの内容もリニューアルしていただけたらと感じています。

(事務局) 2泊3日のキャンピングで野外炊飯は参加者にとって楽しみの一つになるのではないかと思います。以前は、小学校5年生は金峰山少年自然の家、中学校1年生が阿蘇の内牧にあるあそ教育キャンプ場で集団宿泊教室を実施し、あそ教育キャンプ場は野営ということで野外炊飯をしていました。

金峰山では、なかなか野外炊飯をするプログラムが少なかったと思いますので、今回、野外炊飯については、学校にもプログラムの中に入れ込んでもらうようにお願いしたいし、施設職員も活動支援をこれまで以上にいき、より良い体験プログラムができるように支援していければと思っております。

また、素晴らしい金峰山周辺や国有林も施設に隣接していますので、子どもたちに環境教育、森林学習をしっかりとしてもらいたいと思います。金峰山ビレッジさんのほうで、色々なアクティビティの企画と準備を進められていますので、委員がおっしゃったように、学校の人数また学校の規模等に応じて、色々なプログラムの提供をして、活動支援ができるように金峰山ビレッジさんとともに行っていきたいと思います。

(議長) 地元の委員の皆様から、ご意見等ございませんか。

(委員) 私たちは、出来る限り協力していきたいと思います。

(委員) チラシに使用料が書いてあります。その中で、食事代・薪代・クリーニング代等は有料とありますが、いくらを想定していますか。また食事の提供はどのようになっていますか。

(事務局) 施設使用料については、小中学校の教育課程における集団宿泊教室の児童生徒、教職員は宿泊料無料です。その他は全て有料になります。また、小学生未満の子どもさんについても無料となります。

但し書きで書いていますが、食事代、クリーニング代、薪代、場合によって活動プログラムの指導料は有料となります。

それぞれの料金は、開業準備部会でしっかり積み上げております。特に食事については、今考えてらっしゃいますのが、アレルギー対応をしっかりしたいとのことで、ノンアレルギーの食品を提供していきたい。全て安全で安心な食事メニューを同じものをこどもたちに食べさせたいということで、学校の集団宿泊教室の食事メニューを考えておられます。

一般の団体は選択ができるということで、県内の施設が3食で2,000円位です。食材、光熱費等が上がっていますので、私たちといたしましては、おいしいものをお腹いっぱい食べていただくように、値段は許す限りのアップはしかたないだろうと思っています。

食事も、キャンプの楽しみの一つでもありますし、また食育につなげるようにやっていきたいと思っています。また、価格については今検討しているところです。年内には決めて、ご案内していきたいと思います。

(委員) 小学校関係は無料で、食事代は出さなければならないのですね。

(事務局) はい。学校の2泊3日の集団宿泊教室、教育課程については、施設利用料は無料ですが、例えば、部活動とか合宿、PTA行事等の宿泊料の金額は大人の半額にしています。

(委員) 市内の小中学校は無料ですけど、団体は料金があるのですか。

(事務局) 宿泊棟に泊まった場合、例えば1泊2日で熊本市子ども会育成協議会の夏のキャンプをされる時のこども料金は700円になります。

(委員) 利用料が高いと施設を利用する人が少なくなるのでは。それを出してもらいたい。その半額位で市内の小中学生分をお願いできないでしょうか。

(事務局) これについては、私たちも実際かかる経費が1人あたりいくらになるかということで、積算根拠としては、今までの運営経費が1人あたり1,500円程度かかっていました。その中でこども料金については低価格で来てもらいたい思いがありましたので半額程度にしたところです。これは、県内の青少年教育施設と同等なので、この金額で利用料金制度をとりますが金峰山ビレッジさんにもこの条例の金額内でいかせていただきたい。何卒ご理解をいただきたいと思います。

(議長) 本日は、熊本森林管理署からお越しいただいていますのでお願いします。

(委員) 熊本森林管理署で森林指導官をしています。よろしくお願いします。

日ごろから、皆さんにご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

金峰山周辺は自然休養林として市民の憩いの場として提供させていただいているところです。また、熊本市教育委員会と「遊々の森協定」を結ばせてもらっておりまして、レクリエーションや森林学習の場として利用していただきたいと思います。

(森林官) 熊本森林事務所で現地担当をしております。私どもも協力できることはやっていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

(議長) 私も4月から阿蘇のYMCAのキャンプ場へ異動になりまして、経費等について様々な情勢が動いていることもあり、受益者負担を考えていく時代になったなと思っております。そのためのPFIという形での新しい運営の道をとっていかれるので、運営していく中で、今回ご意見をいただきながら、準備を進めていただきたいと思います。

(委員) 通信状態について、こどもたちがタブレットを使った活動をする時は、このような通信状況で使えるのでしょうか。改善されますか。

(金峰山ビレッジ) 現在は仮設の通信設備です。本施設には有線を引き込み、Wi-Fi設備を設けます。

(委員) ここの現場事務所辺りは、駐車場になるのですか。

(事務局) 駐車場になります。現在建っている体育館の横に食堂棟、その北側にセンター棟の管理室とか研修室になります。

(委員) 駐車場は何台収容できますか。

(事務局) 大型バスが3台、普通車両が25台、その他自動二輪、自転車駐輪場です。

(委員) 自然の家に来る時に、左側にある広い空き地は駐車場とは違うのですか。

(事務局) そこは民地になりますけれども、今も工事のときはお借りして、資材置き場にしています。場合によっては、主催事業とか多くの方が車で来られるときは、民地の方にお借りするようお願いすることも考えています。

特に、芳野・河内地区の地元の皆様には、色々な地域資源を活用したプログラム、また地域の皆さんとの交流も考えていきたいと思っておりますので、ご指導やご協力を賜ればありがたいと思います。

また、熊本森林管理署の皆様にも、長年に渡り大変お世話になっております。今回の施設に関しましては、若干施設にかかる木枝を、許可をいただいて枝打ちをさせていただきました。また、こどもたちが利用するウオークラリーコースについてもご相談しながら活用させていただきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願いします。

(議長) それでは次の議題、新施設の愛称選考について説明をお願いします。

(事務局) 新施設愛称の選考候補作品等を資料沿って説明

(議長) ありがとうございます。多くの児童の方々から興味関心を持っていただけてうれしく思っております。その中で最優秀候補を6つ示していただいています。その他にもたくさんの方の応募作品についてのご意見をいただければと思います。

(委員) ヤマガラは、金峰山でよく見かけます。手のひらにのせるピーナッツにもよってきます。

(委員) 私としては、くまモンが出てくるかと思いましたが全然出てこなかった。くまモンハウスとかあるのかなと思いました。

(委員) 「ヤマガラビレッジ」は、すごく良いなと私自身思っています。

全てカタカナなので、どこで切るのだろうと思って、でもせっかくこどもさんが考えられた名前なので、それに手を入れるのはどうかなと思うのですが、この辺はビレッジの部分で英語表示とか、ヤマガラの部分をひらがなにしたりとか、そういう修正は可能ですか。

(事務局) そのようなご意見は、金峰山ビレッジとの合同会議の中でもヤマガラビレッジに限らず、こういうふうにするのもいいなとかのご意見がありました。

私たちは、こどもたちの思いをそのまま使いたいと思っています。そのかわり、表記するときにヤマガラとビレッジの間を半角空けるとか、イラストとか入れる中でヤマガラとわかるようにすることはあると思います。

(委員) 全国の人からヤマガラビレッジはどこにありますかとか。会社名に見えるのではないのでしょうか。

(事務局) 広く親しまれ、イメージが湧くようにしなければならないと思っています。正式名称は熊本市立金峰山自然の家ですので、愛称の表記の仕方とか応募作品の理由もありますので、よりわかりやすく、ヤマガラの説明とかも含めまして熊本県熊本市の金峰山自然の家ですと、ヤマガラとの関わり合いやこどもたちにも分かりやすく説明をしたり、公表する時は、ご意見も踏まえて考えていこうと思います。

(委員) 抽象的なネーミングが多い中、ヤマガラと具体的なところが出てきているので、3年生のこどもは金峰山と調べて、どんな鳥がいるのだろう、どんな自然があるのだろうと調べて、このヤマガラにいきついたと思います。そこまでの過程を思うと、本当に家族との思い出が出ているなと思います。

そして、キャラクター化もしやすいので、こどもたちが親しみを持ってくれると思いま

す。また、なかなか見ることができないというのが、私は良いと思います。2泊3日の間に、ヤマガラを見つけてもらうとか、出会ったらハッピーだよとか、そういうだけでこどもの関心が高まって野外活動に意欲がわくのではないかと思います。

(事務局) その他、学年ごとに候補1、候補2という形であげています。学年ごとの最優秀作品を決めています。その他、これが良かったと思うものがあれば、ご意見いただきたいと思っています。

(委員) 応募作品を全部見させていただきましたが、「ひみつきち」「ゆうひの丘」「金峰山ゴールド」とか良いなと思いました。

(事務局) この候補作品にはあがっていませんが、熊本市と金峰山ビレッジとで候補の一つとして上がったのをいくつか紹介したいと思います。

「金峰山フォレストヴィラ」「グリーンゴールド学びの森」「緑あふれる自然のとびら」「えがおいっぱいパーク」「肥後っ子金峰山の家」「自然の家ワイルドハウス」「わくわくハウス」とかの作品は、応募理由と一緒に見るとどの作品もいいなと感じました。

(委員) 先ほど、こどもたちが考えた名前に手を付けないという話がありましたが、最小限の修正とか、ちょっとした変更が必要なのかと思います。読みにくいので、一部ひらがなに変更したりとか、もちろん小学生の意見も最大限に守りながらも、少し手を入れて、末永く愛称として使っていくためにも良いのではないかと思います。

(議長) せっかくですので、施設内の色々な所に今回出していただいたものを使ってもらうことも検討いただければと思います。考えたものが、ここにあるなどか思ってもらえれば親しみがわくと思います。

(事務局) どの候補になるかで変わってくると思いますが、皆さま方からご意見を金峰山ビレッジさんとも協議しながら検討していきたいと思っています。

また、色々な名称となるような呼び名も出ています。例えば、ワイルドタワー内に座る場所がありますが、星の家とか、そういう表現にするとか、そのあたりも考えていきたいと思いますし、実際応募してもらった、こどもさんにもしっかりと確認をしながら使わせていただくのも可能かというのも含めて考えていきたいと思っています。

(議長) 他になれば協議3に入っていきたいと思っています。今後のスケジュールについて、事務局からお願いします。

(事務局) 今後のスケジュールについて、資料に沿って説明

(議長) ただ今の説明について、質問等ありましたらお願いします。

(委員) 8月から一般利用申込みが開始されるとなっておりますが、ホームページでの申込みですか。

(事務局) 今、金峰山ビレッジさんのほうで、準備をされていますので、その日にちは金峰山ビレッジさんのホームページ又は熊本市のホームページで、市民の皆さんや多くの方々に利用についてお知らせをしていきたいと思っています。

(委員)

既存のお堅いイメージがあって、新施設のV R動画とか見られればいなと素敵だなと思います。

(事務局) 今も、V R動画の15分フルバージョンをYouTubeで見れるようにしています。また、新施設整備の進捗状況も先ほど画像で見ていただいた写真も三津野建設さんの施工中の物件という形で見れます。随時、金峰山ビレッジさんのほうで更新されていますので、ぜひご覧いただけたらと思います。

(委員) YouTubeの動画は愛称募集の中にありますか。

(事務局) タブレットの中にありますし、ホームページ内で見れます。

(議長) 安全面についての質問がありましたが、これから安全面のマニュアル等を作成されていかれますが、私は金峰山自然の家のすぐ下に住んでいます。上がってくるのに結構道が狭かったり、危険な個所があり緊急要請が必要になった場合に、ヘリポート等も考えていく必要もあると思います。そういうものも含めた安全マニュアルを運営に向けて考えていただければと思います。

(事務局) 非常時のこの施設の管轄は、熊本市消防局では西消防署になります。また、熊本県警は南警察署が管轄になります。しっかりと情報を提供ながらご指導もいただき、安全管理については、運営マニュアルに落とし込むように準備を進めていきたいと思っています。

(委員) 動物の進入について、最近、シカが出ていますが金峰山には鹿がいますか。

(事務局) イノシシは私も見かけます。小動物も居ますが、シカは見えていません。立田山には居るみたいですが、今のところ近隣には居ないみたいです。いずれにしても、イノシシとかは怖いのでしっかり整備の中で、夜間は駐車場にもフェンスをしたり、安全対策は近隣の皆様からお聞きしているので、運営上の安全管理を徹底していきたいと思っています。

(議長) その他無いようでしたら協議を終了したいと思います。委員の皆さんからの意見をいただきまして、貴重な意見交換の場になったと思います。ありがとうございました。

(事務局) 色々と貴重なご意見をいただきありがとうございます。

ここで、金峰山ビレッジの代表企業で、三津野建設の藤吉社長さんがお見えですので、一言ご挨拶をお願いします。

(金峰山ビレッジ) この事業の建設をしています金峰山ビレッジの藤吉と申します。

金峰山自然の家の整備運営事業に、ご理解とご協力を賜りありがとうございます。

また、本日もたくさんのご意見をいただきまして、今後も参考にさせていただけたらと思います。

建設工事の方も着々と進んでおりまして、運営の方もＳＰＣ内で協議を進めながら、来年４月のオープンに向けて準備を進めています。

今後は運営協議会の皆様はじめ、地域のたくさんの方からのご意見をお聞きしながら、より良い野外教育施設の完成に向けて準備を進めて参りたいと思います。どうぞご協力の程をよろしくをお願いします。本日はありがとうございました。

(司会) 議長をはじめ委員の皆様方、長時間にわたり熱心な協議をありがとうございました。

この後、現場をご案内したいと思いますので、時間のあられる方は、現場のほうをお願いします。

それでは、令和６年度第１回熊本市立野外教育施設運営協議会を終了します。